

発議第 19 号

東アジア地域の軍事的緊張を高めるあらゆる行為に抗議する決議
について

上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和4年10月4日提出

提出者

流山市議会議員 乾 紳一郎

賛成者

流山市議会議員 高橋 光

// 植田 和子

// 小田桐 仙

東アジア地域の軍事的緊張を高めるあらゆる行為に抗議する決議

ロシア政府によるウクライナへの軍事的侵略が始まって半年が経過したが、その被害は甚大なものとなっており、戦争が一度始まれば取り返しがつかない事態になることは明白である。また、立場や歴史、宗教、統治の方法等が異なる立場でも外交努力を積み重ね、平和を築く努力の大切さが改めて共有されている。

一方、中国政府は、米国下院議長による台湾訪問への対抗措置として、8月2日から台湾近海で軍事演習を開始した。また4日には台湾を取り囲む6カ所の海域で実弾演習を行い、日本の排他的経済水域内を含む近海に複数の弾道ミサイルが着弾した。

これは、地域の平和と安定を揺るがし、台湾国民政府や台湾住民の自由に表明されるべき民意に対する軍事的な圧力や威嚇の強化となりうるもので、強く抗議する。

同時に、中国・台湾問題の解決に向けた外交努力や協議の場が確保されていない下で、アメリカ合衆国大統領の継承順位3番目にあたる地位の人物が、米国内の慎重論を聞かず、台湾訪問したことは、緊張を高める材料になりかねない。

また、日米、米韓の合同軍事演習や軍事的関与のさらなる強化、北朝鮮による核ミサイル実験は、「軍事対軍事」の悪循環に陥る危険をはらんでいる。

よって、どんな国であろうと、どんな理由があろうとも、東アジア地域の軍事的緊張を高めるあらゆる行為には強く抗議し、平和的解決を求める外交努力を積み重ね、東アジアの平和と安定に寄与することを各国政府に強く求める。

以上、決議する。

2022年10月4日

千葉県流山市議会

発議第 20 号

「旧統一協会」と政治家の癒着を究明し、決別を求める意見書について

上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和4年10月4日提出

提出者

流山市議会議員 高橋 光

賛成者

流山市議会議員 植田 和子

// 小田桐 仙

// 乾 紳一郎

「旧統一協会」と政治家の癒着を究明し、決別を求める意見書

安倍晋三元首相への銃撃事件を機に、政党や議員と「旧統一協会」(世界平和統一家庭連合)の癒着が表面化し、大きな社会問題になっている。

旧統一協会は、献金強要、洗脳、靈感商法、集団結婚式など多くの問題を引き起こし、多数の被害者を生み出してきた反社会的カルト集団との報道もされている。

全国靈感商法対策弁護士連絡会(全国弁連)によれば、2021年12月までの34年間で、全国弁連の弁護士や消費生活センターが受けた旧統一協会に関する相談件数は3万4537件で、被害総額は1237億円に上るとされ、これでも「氷山の一角」だと指摘している。

「旧統一協会」は、靈感商法や高額献金強要など消費者被害を拡大する一方、政権与党や閣僚・議員との癒着を強めてきた。「旧統一協会の関連団体イベントへの挨拶やメッセージ」を要請し、「選挙の支援」や「パーティー券の購入」など協力関係を深めてきたのである。

国家公安委員長、防衛大臣など現職の閣僚が「旧統一協会」関連団体と関係していた事実や、「統一協会」から「世界平和統一家庭連合」への名称変更が、「旧統一協会」と関係があったとされる文部科学大臣のもとで承認された問題など、疑惑は深まる一方である。

よって、本市議会は国に対し、「旧統一協会」と政治家の癒着を究明し、決別するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2022年10月4日

衆議院議長	細田	博之	様
参議院議長	尾辻	秀久	様
内閣総理大臣	岸田	文雄	様
内閣官房長官	松野	博一	様

千葉県流山市議会

発議第 21 号

高齢者医療費負担の2倍化に反対し、撤回等を求める意見書について

上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和4年10月4日提出

提出者

流山市議会議員 乾 紳一郎

賛成者

流山市議会議員 高橋 光

// 植田 和子

// 小田桐 仙

高齢者医療費負担の2倍化に反対し、撤回等を求める意見書

75歳以上の後期高齢者医療制度は、窓口における自己負担について2008年の制度開始以来、1割負担が原則であった。しかし、今年10月から自己負担を2倍化し、2割負担とするため、令和4(2022)年度予算案では約290億円の国費が削減された。

これまでも、3割負担だった「現役並み」とされる所得がある世帯を除き、単身世帯で年収200万円以上、夫婦ともに75歳以上の世帯ならば年収320万円以上となる約370万人が医療費負担2倍化の対象となる。

これでは、年金の減少に加え、物価や電気代等の値上げが続く現在、医療費負担の2倍化が、受診抑制をさらに助長させかねない。

一方、不公平税制・富裕層優遇の象徴ともいうべき「金融所得課税の強化」には岸田内閣は手を付けず、所得が少ない国民だけが負担増のシワ寄せを強いられている。

よって、国に対し、高齢者医療費負担の2倍化に反対し、撤回を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2022年10月4日

衆議院議長	細田	博之	様
参議院議長	尾辻	秀久	様
内閣総理大臣	岸田	文雄	様
財務大臣	鈴木	俊一	様
厚生労働大臣	加藤	勝信	様
内閣官房長官	松野	博一	様

千葉県流山市議会

発議第 22 号

千葉県立高等学校のトイレ洋式化の早期実現を求める意見書について

上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和4年10月4日提出

提出者

流山市議会議員 植田 和子

賛成者

流山市議会議員 高橋 光

// 小田桐 仙

// 乾 紳一郎

千葉県立高等学校のトイレ洋式化の早期実現を求める意見書

児童生徒からの声を受け、流山市内小中学校のトイレ洋式化が100%実現した。一方、千葉県立高等学校へ進学した生徒からは、学校のトイレの多くが和式のため、改善を求める要望が強く寄せられている。実際、今年3月時点でも、特別支援学校を除く市内にある県立高等学校4校では、学校トイレの7～8割が、和式となっている。

千葉県では、今年3月から10ヵ年計画で洋式化100%を目指す取り組みを熊谷知事がスタートさせたものの、早期の工事着手が待たれている。そこで、下記のことを要望する。

記

1 千葉県立高等学校のトイレ洋式化等改修工事を前倒しで実施すること。

2 都道府県の取り組みをさらに後押しするためにも、補助上限額を引き上げるなど、国の補助制度を見直しすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2022年10月4日

衆議院議長	細田	博之	様
参議院議長	尾辻	秀久	様
内閣総理大臣	岸田	文雄	様
財務大臣	鈴木	俊一	様
文部科学大臣	永岡	桂子	様
千葉県知事	熊谷	俊人	様

千葉県流山市議会

発議第 23 号

高校卒業まで子ども医療費助成の拡充を求める意見書について
上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和4年10月4日提出

提出者

流山市議会議員 高橋 光

賛成者

流山市議会議員 植田 和子

// 斉藤 真理

// 小田桐 仙

// 乾 紳一郎

高校卒業まで子ども医療費助成の拡充を求める意見書

子どもの医療費助成制度をめぐっては、東京都が、対象年齢を高校卒業年齢まで引き上げる方針を示した。その他、茨城県や栃木県でも高校卒業まで対象を拡大し、大変喜ばれている。

一方、千葉県では、県知事選挙の前知事の公約をきっかけに、県内市町村では、対象を中学校卒業までに拡充するなど、子どもの医療費助成制度を拡充してきた。また、一部市町村では、高校卒業までの対象拡充や、窓口負担を無料とするなど、子育て世帯の応援と少子化対策にあたっている。

そこで、下記のことを千葉県に強く求める。

記

- 1 子どもの医療費助成制度の対象年齢を高校卒業まで拡充するため、協議を開始させること。
- 2 現行、子ども医療費助成制度における千葉県の財政負担について、対象年齢の基準を少なくとも中学校卒業まで早急に引き上げ、市町村における財政負担の軽減を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2022年10月4日

千葉県知事 熊谷 俊人 様

千葉県流山市議会